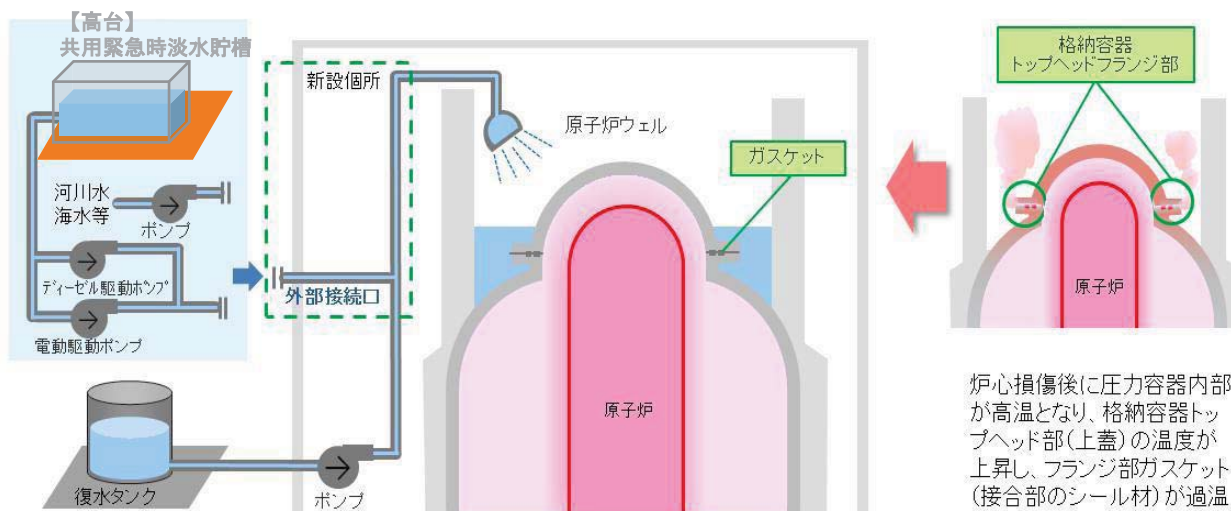
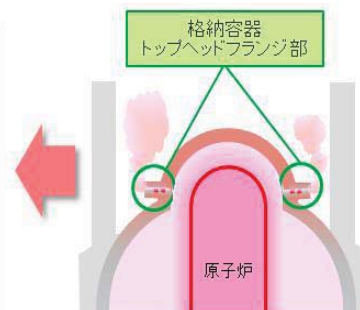


格納容器トップヘッドフランジの冷却機能の強化

炉心損傷後、原子炉ウェルへ冷却水を注水し格納容器トップヘッドフランジ部（上蓋接合部）を冷却することで、フランジ部からの水素などの漏えいを抑制します。冷却機能の確保のための配管を接続し、また外部からの注水を可能とする外部接続口を設け、注水手段の多様化を図ります。



原子炉ウェルへ冷却水を注水することにより、直接格納容器トップヘッドフランジ部を外部冷却し過温を防止することで、ガスケットのシール機能を保ち、格納容器からの水素等の漏えいを抑制します。



炉心損傷後に圧力容器内部が高温となり、格納容器トップヘッド部（上蓋）の温度が上昇し、フランジ部ガスケット（接合部のシール材）が過温により破損し、水素等の漏えいが発生する可能性があります。